

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（一次評価）について、令和元年12月20日に開催した第3回新発田市地域公共交通活性化協議会において、いただいた意見等を踏まえ、次のとおり修正し、令和2年1月14日付けで北陸信越運輸局新潟運輸支局長へ提出したので、報告します。

1 第3回新発田市地域公共交通活性化協議会における意見と対応について

・事業評価シート(案)について

<意見等の内容及び対応一覧>

該当部分	意見等の要旨	事業評価シート（案）への修正等
地域内フィーダー 系統確保維持費国 庫補助金（別添1） ③前回の事業評価 結果の反映状況	あやめバスの③前回の事業評価結果の反映状況に、昨年度実施した評価結果の⑥事業の今後の改善点にある「買い物へのバス利用をPRするパンフレットの配布」が記載されていなかった。実際に行ったのであれば③に記載していただきたい。	作成したパンフレットは、買い物にも対応したものであることから、意見を踏まえ、③前回の事業評価結果の反映状況の「パンフレットを作成、配布」という記述部分に、「買い物へのバスの利用をPRする」を追記する。
	川東コミュニティバスの③前回の事業評価結果の反映状況に、昨年度実施した評価結果の⑥事業の今後の改善点にある「学校への通学に配慮したダイヤ設定を継続する」が記載されていなかった。実際に行ったのであれば③に記載していただきたい。	通学に利用できるようなダイヤに引き続き設定していることから、意見を踏まえ、③前回の事業評価結果の反映状況の「学校への通学の配慮したダイヤ設定を継続した」を追記する。
地域内フィーダー 系統確保維持費国 庫補助金（別添1） ⑥事業の今後の改 善点	近年推移しているというような分析をしている場合、グラフや年ごとの推移が分かる資料があると良いのではないか。	次回以降、協議資料を作成する際に留意したい。
地域内フィーダー 系統確保維持費国 庫補助金（別添1） ⑥事業の今後の改 善点	高校生の利用を促進するためという部分について、記載内容を増やすべきではないか。	高校生向けの新たな利用促進策については、今後、具体的な検討をしていくこととし、今回の評価においては、例年4月に、新入高校生向けに配布しているパンフレットの配布時期や記載内容の見直しを図り、取組を継続することとして、記載内容

報告（１）

		の修正等を行っている。
地域内フィーダー 系統確保維持費国 庫補助金（別添１） ⑥事業の今後の改 善点	（③のあやめバスに関する意見 を踏まえ）⑥にも買い物へのバ ス利用をPRするという記事を記 載することになると思われるた め、記載をお願いしたい。	意見を踏まえ、⑥事業の今後の改善点の 「パンフレットを作成、配布」という 記述部分に、「買い物へのバスの利用をPR する」を追記する。

・目標数値の設定について

<意見等の内容及び対応一覧>

該当部分	意見等の要旨	対応等
地域内フィーダー 系統確保維持費国 庫補助金（別添１） ⑤目標・効果達成 状況	あやめバス・川東コミュニティ バスのいずれも現在設定されて いる数値目標では今後も「C」評 価が続くことが予想されるた め、今後、目標設定する際に検 討を行う必要があるのではない か。	目標の設定については、単に目標値を見直 すのか、あるいは、指標自体を見直すのか も含め、現在進めている網形成計画の見直 しとの整合を図りながら検討していき たい。

2 事業評価シート（修正後）について

別添１、別添１－２のとおり

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月14日

協議会名: 新発田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	あやめバス(外回り・内回り)申請番号1~7	・高校生や高齢者の利用を促進するために、通学や通院、買い物へのバスの利用をPRするパンフレットを作成、配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 <事業の目標> 年間利用者数81,704人以上 (前年度)81,527人→(今年度)78,184人 <事業の効果> ・新発田市街地における公共施設や商業施設、医療機関といった施設や観光資源へのアクセス性の確保と回遊性の向上を図る。 <達成状況の分析> ・少雪の影響もあり、冬期利用者が昨年度に対し大きく減少したため、目標値を達成することができなかったものと考えられる。 ・1便あたり13.7人の利用があり、中心市街地や商業施設、医療施設等を移動するための手段として定着している。 ・近年は利用者数が横ばいに推移している傾向もあることから、さらなる利用促進を図るため、運行内容の検証を行う必要がある。	・高校生の通学や高齢者の通院、買い物へのバス利用を促進するためのパンフレットの作成、配布を継続する。 ・四半期に一度行う動態調査結果を基に、運行内容を検証する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月14日

協議会名: 新発田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	川東コミュニティバス 申請番号8~13	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントでのPR活動、通院利用、買物利用を促すための利用ガイドを作成、配布したほか、地域住民の積極的な利用を促すための乗り方教室を実施した。 ・<u>学校への通学に配慮したダイヤ設定を継続した。</u> 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p><事業の目標> 1日当たり利用者数260人以上 (昨年度)228人→(今年度)184人 1日当たり運賃収入27,500円以上 (昨年度)19,982円→(今年度)17,190円</p> <p><事業の効果> ・川東地区における自家用車を運転できない高齢者や障がい者、高校生等のいわゆる交通弱者の日常生活の移動ニーズに応じた移動手段を確保する。</p> <p><達成状況の分析> ・乗車人数が目標に達しなかった要因の一つとして、昨年度と比較し、冬期間において少雪であったことから、利用者が大幅に減少したことが考えられる。 ・運賃収入が目標に達しなかった理由として、身体障害者手帳等の提示による無料乗車人数の割合が増加していることに加え、少雪による冬期利用者の減少が主な要因と考えられる。 【参考①】川東地区高校生の市内6高校における学生数と利用率(見込) (H30.7動態調査)73人、18.4% → (R1.7動態調査)72人、20.3% 【参考②】県立新発田竹俣特別支援学校のバス利用者数 (H30)26人 → (R1)31人 【参考③】手帳提示率(手帳提示者/乗車人数) (H30)19.8% → (R1)22.4%</p> <p>・目標は達成しなかったものの、川東地区内の高校生及び川東地区にある県立新発田竹俣特別支援学校の生徒の重要な通学手段として定着している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時において、乗り継ぎへの不安感もあることから、地域とともに乗り方教室を継続して実施するほか、バス停掲示物や車内掲示物の工夫を行うなど利用促進を図る。 ・地域住民と一体となり、運行内容の検証を行う。 ・小・中学校の通学に配慮したダイヤ設定を継続する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月14日

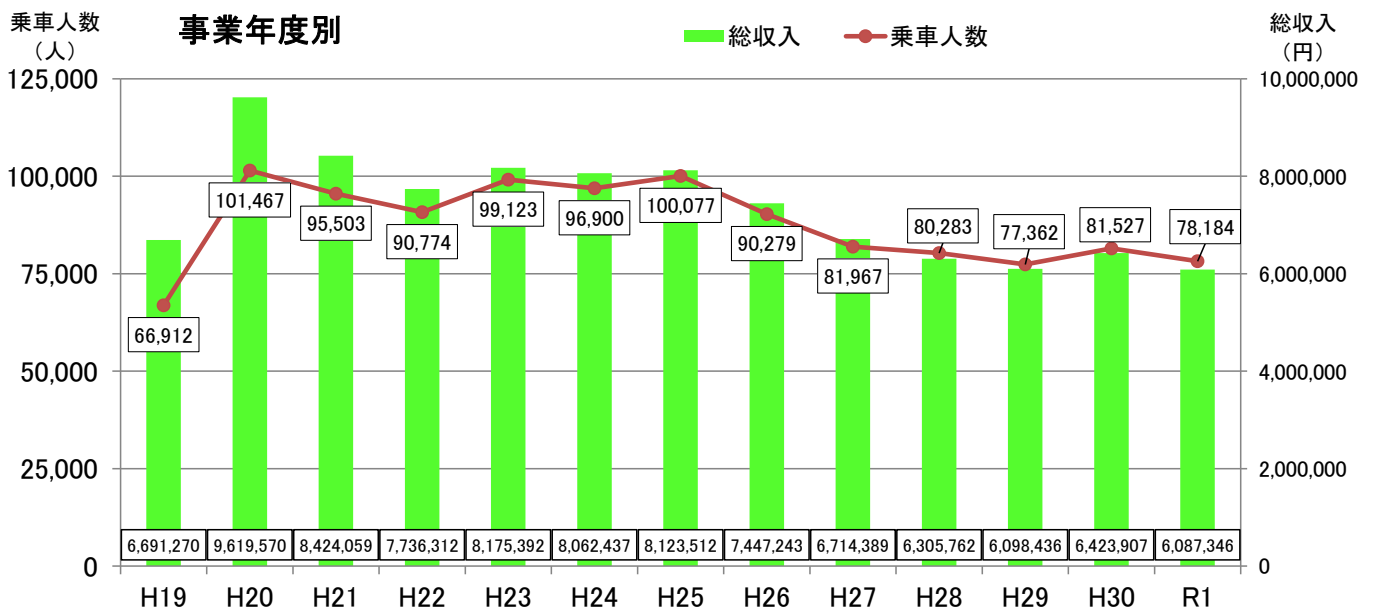
協議会名：	新発田市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>新発田市においては、市内と市外とを結ぶ幹線で広域的な役割を担う広域路線(羽越本線(鉄道)、白新線(鉄道)、木崎線(路線バス))を軸に、市域内に広範に鉄道、路線バス、コミュニティバス等により構成される公共交通ネットワークが広がっている。これらの公共交通については、広域路線に通じる幹線路線(路線バス、新発田市コミュニティバス、川東コミュニティバス)、中心市街地路線(市街地循環バス(あやめバス))が広域路線の支線の役割を果たしている。また、新発田市街地中心部にある新発田駅で結節している。(新発田市地域公共交通網形成計画(以下、「計画」という。)P20、P73参照)</p> <p>「新発田市都市計画マスタープラン」では、目指すべき将来の都市の骨格として、新発田市街地中心部を「都市拠点」と位置付けており、地域公共交通ネットワークの構築においては、新発田市市街地中心部、特に、新発田駅を交通結節点として、中心市街地の各公共施設や商業施設、医療機関といった都市機能施設や観光資源への市内外からのアクセス性を確保し、回遊性を向上させることで、都市拠点としての機能を高める方向としている。また、公共交通を取り巻く現状では、高齢化や学校統廃合に伴う児童生徒の通学環境の変化により、自家用車を運転できない高齢者等のいわゆる交通弱者の日常生活の移動手段の確保が求められており、公共交通の必要性が高まっている。</p> <p>このうち、あやめバスは、市中心部内の居住地域・交通結節点と各拠点施設を結び、地域住民及び各地域・近隣市町からの利用者にとって重要な移動手段となっている。川東コミュニティバスは、川東地区と市中心部を結び、地域住民の日常生活を支える役割とともに、小学校及び中学校への通学手段としての役割を担っている。あやめバス及び川東コミュニティバスは、JR新発田駅で鉄道や路線バスと結節し、地域住民、近隣市町の利用者にとって欠かせない移動手段となっており、将来に渡り安定した運行の確保・維持を図る必要がある。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、あやめバス及び川東コミュニティバスを確保・維持することが必要である。</p>

市街地循環バス（あやめバス） 利用状況

(平成18年11月実証実験運行開始、平成24年4月本格運行開始)

事業年度	月	総収入(円)				運行		乗車人数(人)					目標値との比較	
		①=②+③	②	③	④=③/①	⑤	⑥	⑦	うち手帳	手帳提示	1日平均	1便平均	⑩	⑦/⑩
									提示者*	者乗車率				
H19	合計	6,691,270	4,034,270	2,657,000	39.7%	334	7,348	66,912	—	—	200.3	9.1	—	—
H20	合計	9,619,570	4,759,620	4,859,950	50.5%	366	8,052	101,467	9,789	9.6%	277.2	12.6	—	—
H21	合計	8,424,059	4,918,809	3,505,250	41.6%	365	6,998	95,503	10,908	11.4%	261.7	13.6	—	—
H22	合計	7,736,312	4,922,662	2,813,650	36.4%	365	6,094	90,774	14,659	16.1%	248.7	14.9	—	—
H23	合計	8,175,392	5,249,972	2,925,420	35.8%	365	6,221	99,123	16,882	17.0%	271.6	15.9	—	—
H24	合計	8,062,437	5,127,687	2,934,750	36.4%	366	6,246	96,900	6,574	6.8%	264.8	15.5	45,148	214.6%
H25	合計	8,123,512	5,038,162	3,085,350	38.0%	365	6,221	100,077	17,591	17.6%	274.2	16.1	99,521	100.6%
H26	合計	7,447,243	4,581,243	2,866,000	38.5%	365	5,980	90,279	14,917	16.5%	247.3	15.1	96,453	93.6%
H27	合計	6,714,389	4,106,289	2,608,100	38.8%	365	5,723	81,967	14,249	17.4%	224.6	14.3	91,920	89.2%
H28	合計	6,305,762	3,865,162	2,440,600	38.7%	366	5,741	80,283	16,315	20.3%	219.4	14.0	92,000	87.3%
H29	合計	6,098,436	4,099,086	1,999,350	32.8%	365	5,744	77,362	15,455	20.0%	212.0	13.5	91,563	84.5%
H30	合計	6,423,907	4,458,507	1,965,400	30.6%	365	5,737	81,527	16,500	20.2%	223.4	14.2	81,330	100.2%
H30 R1	10	483,433	334,533	148,900	30.8%	31	495	6,338	1,484	23.4%	204.5	12.8	6,809	93.1%
	11	477,807	322,607	155,200	32.5%	30	477	6,256	1,436	23.0%	208.5	13.1	6,809	91.9%
	12	608,979	417,829	191,150	31.4%	31	474	7,614	1,484	19.5%	245.6	16.1	6,809	111.8%
	1	639,011	435,341	203,670	31.9%	31	481	7,843	1,377	17.6%	253.0	16.3	6,809	115.2%
	2	553,946	372,146	181,800	32.8%	28	441	6,823	1,244	18.2%	243.7	15.5	6,809	100.2%
	3	521,932	375,982	145,950	28.0%	31	481	6,627	1,377	20.8%	213.8	13.8	6,809	97.3%
	4	519,994	352,644	167,350	32.2%	30	470	6,471	1,239	19.1%	215.7	13.8	6,809	95.0%
	5	417,802	275,052	142,750	34.2%	31	474	5,489	1,280	23.3%	177.1	11.6	6,809	80.6%
	6	463,930	312,030	151,900	32.7%	30	470	5,915	1,239	20.9%	197.2	12.6	6,809	86.9%
7	456,720	302,670	154,050	33.7%	31	495	6,175	1,577	25.5%	199.2	12.5	6,809	90.7%	
8	499,511	358,161	141,350	28.3%	31	488	6,652	1,577	23.7%	214.6	13.6	6,809	97.7%	
9	444,281	296,681	147,600	33.2%	30	463	5,981	1,526	25.5%	199.4	12.9	6,809	87.8%	
R1	合計	6,087,346	4,155,676	1,931,670	31.7%	365	5,709	78,184	16,840	21.5%	214.2	13.7	81,704	95.7%

※手帳提示者（無料乗車）：「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」提示者数を、事業者が実施する年4回の動態調査結果から算出
 ※目標値：各月の目標値は年間目標値81,704人を1月当たりの値に換算したもの（81,704人÷12か月、小数点以下四捨五入）を参考に掲載



※平成19年度は、平成18年11月から平成19年9月までの11ヶ月間の数値

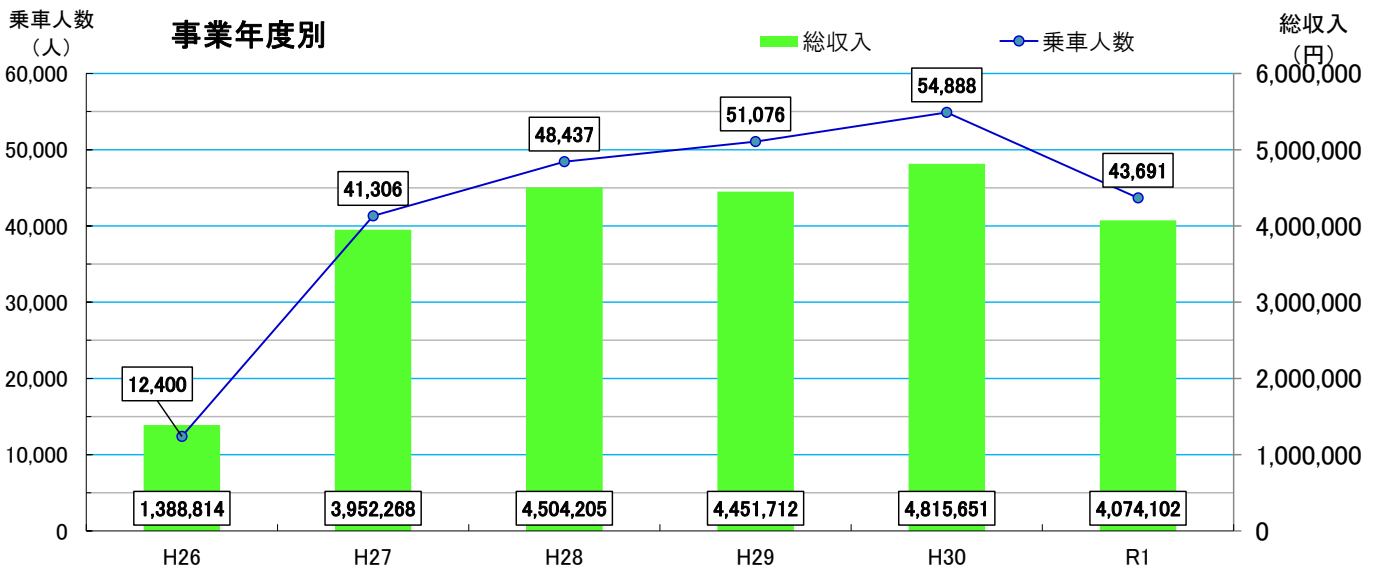
川東コミュニティバス 利用状況

(平成26年4月運行開始)

事業年度	月	総収入 (円)					運行		乗車人数					目標との比較	
		①=②+③	②	③	④=③/① 利用率	①/⑤ 1日平均 (円)	⑤ 日数 (日)	⑥ 便数 (便)	⑦ (人)	⑧ うち手帳 提示者 * ア	⑨ うち循環 利用者 * イ	⑧=⑦/⑤ 1日平均 (人)	⑨=⑧/⑥ 1便平均 (人)	⑩ 260人/日 (人)	⑫ 27,500円 /日 (円)
H26	合計	1,388,814	775,414	613,400	44.2%	11,384	122	7,266	12,400	2,147	2,429	101.6	1.7	21,960	3,001,200
H27	合計	3,952,268	2,193,418	1,758,850	44.5%	16,468	240	14,194	41,306	8,000	5,583	172.1	2.9	43,200	5,904,000
H28	合計	4,504,205	2,282,655	2,221,550	49.3%	18,690	241	13,862	48,437	8,329	7,097	201.0	3.5	43,380	5,928,600
H29	合計	4,451,712	2,308,412	2,143,300	48.1%	18,472	241	12,965	51,076	10,271	7,033	211.9	3.9	53,060	6,279,500
H30	合計	4,815,651	2,698,751	2,116,900	44.0%	19,982	241	12,701	54,888	10,843	6,890	227.8	4.3	62,660	6,627,500
H30 R1	10	371,860	220,610	151,250	40.7%	16,903	22	1,166	4,014	901	538	182.5	3.4	5,720	605,000
	11	365,950	197,950	168,000	45.9%	17,426	21	1,113	3,882	875	520	184.9	3.5	5,460	577,500
	12	443,251	250,701	192,550	43.4%	23,329	19	1,060	4,966	1,092	670	261.4	4.7	4,940	522,500
	1	512,101	304,701	207,400	40.5%	26,953	19	1,062	5,747	1,015	744	302.5	5.4	4,940	522,500
	2	418,861	244,261	174,600	41.7%	22,045	19	1,064	4,620	834	595	243.2	4.3	4,940	522,500
	3	256,900	147,700	109,200	42.5%	12,845	20	1,116	2,704	493	348	135.2	2.4	5,200	550,000
	4	337,349	207,249	130,100	38.6%	16,867	20	1,060	3,604	891	453	180.2	3.4	5,200	550,000
	5	269,380	138,680	130,700	48.5%	14,178	19	1,007	2,725	677	342	143.4	2.7	4,940	522,500
	6	303,310	155,510	147,800	48.7%	15,166	20	1,060	3,075	749	388	153.8	2.9	5,200	550,000
H31 R1	7	305,970	156,870	149,100	48.7%	13,908	22	1,166	3,218	857	380	146.3	2.8	5,720	605,000
	8	207,500	114,200	93,300	45.0%	12,206	17	867	2,114	571	248	124.4	2.4	4,420	467,500
	9	281,670	147,370	134,300	47.7%	14,825	19	1,007	3,022	817	355	159.1	3.0	4,940	522,500
R1	合計	4,074,102	2,285,802	1,788,300	43.9%	17,190	237	12,748	43,691	9,772	5,581	184.4	3.4	61,620	6,517,500

※手帳提示者(無料乗車):「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」提示者数を、事業者が実施する年4回の動態調査結果から算出

※目標値:平成29年4月から変更(H26.4~H29.3までの目標値…乗車人数:180人/日、総収入:24,600円/日)



※平成26年度は、平成26年4月から9月までの6ヶ月間の数値